

WIN-WIN のよきパートナーに

CNCP サポーター
(株)熊谷組 常務執行役員 山崎 晶



12月12日に開催された第1回CNCPサロンに出席した。世界的なうなぎの大家である塚本先生の講演、学問の深さは勿論、素晴らしいお人柄と活動の広さに圧倒され、小学生も虜にする話術に酔い、あっという間の90分を過ごした。今迄、数々の講演を聴講して睡魔に襲われることも少なくなかったが、今回の講演会が一番感銘を受けた。CNCPの行事に参加したのは今回が初めてだったが、このような講師の方を呼べることにCNCPの実力を感じた。

また、講演の間に、2回の質問タイムがあったが、会場から間断なく質問が寄せられた。質問があまり出ない講演会が多い中、年齢は私より先輩のメンバーの方々の方が代わる代わるの好奇心たっぷりに質問する様子はとても新鮮で、メンバーの方々の熱さを感じた。

懇親会には面識のある方も6-7人居られ、初参加の小生を温かく包み込んでくれる雰囲気があり、とても居心地が良かった。その場で、ご自身の活動について、ノートパソコンを取り出して熱心に打合せをするメンバーの方も居て、常日頃、熱心に活動して居られるのだな、と感じた。

土木屋の応援団長で「京都インクライン物語」など数々の土木屋の生き様の作品を残した小説家の故田村喜子さんを偲ぶ会のお手伝いをした経緯で、山本卓朗さんとの面識を得て、小生はCNCPへサポーターとして入会させて頂いた。現在は、この田村先生の会を発展させ、様々な組織の若手と、自らの研鑽のための行事や一般市民の方々への行事を、彼ら若手の発案・企画・運営により実施出来ないかとの取り組みのお手伝いをしている。

私自身、自社の業務とは違った、他組織や違う世代の方々との交流や活動で得たご縁で、随分と勉強になったり、翻ってそのご縁が社業に活かしたことも多く、若手の方々にもこうした経験や楽しさを是非味わって欲しいと感じている。

若手は、フレッシュな感性やアイデアは持っているが、業務多忙で、他組織の方々との連携の機会も少なく、活動の後押しをする協力・応援者も居ないのが現状と感じている。是非とも若手主導の具体的な活動を1つでも2つでもスタートしたいと考えている。

今回、CNCPにサポーターとして入会したが、CNCPをサポートするのみでなく、今述べたような若手との取り組みを、是非、CNCPと連携し、そのサポートやご指導を頂けないものかと考えている。粒度分布の良い土は良く締まりやすいように、様々で異なった多様な組織や世代の方々との「連携」は、きっと良い化学反応を生み、お互いの活動の後押し・進展に繋がると強く期待している。

サポーターというより、お互いサポート仕合い、連携し、win-winの良きパートナーであるべく積極的に勉強・活動したいと思っておりますので、今後ともご指導の程、宜しくお願ひいたします。